**令和８年度 第１回 大阪市障がい者施策推進協議会地域自立支援協議部会**
**ワーキング会議　会議要旨**

１．日時：令和８年７月 28 日（火）午後６時 30 分から午後８時 30 分
２．場所：大阪市役所　地下１階 第８共通会議室
３．出席委員：
・会場参加
岡委員、酒井（京）委員、酒井（大）委員、潮谷委員、鳥屋委員、平田委員、
与那嶺委員
・Web 参加
北野委員

【議題１　各区地域自立支援協議会から報告のあった市の施策として取り組むべき課題について】

＜主なご意見＞

（１）課題に対して取り組んだ評価について
・課題に対して取り組んだ結果、現場でどうなったか評価していく必要がある。
・区が課題として挙げたことと、取組みが一致しているかも含めて評価していくことが大事。
・評価して次どうしていくか、ＰＤＣＡで見ていくことが大事。
・取組みを挙げた時に、どう評価していくかも出しておく方が良いのではないか。

（２）地域課題に対する各区へのフィードバックについて
・実際の現場レベルでは取り組み内容がおりていないのが現状である。
・市で議論された課題の取り組み状況について、各区に丁寧にフィードバックすることが大切。
・各区の自立支援協議会のメンバーに取り組み状況が分かるように周知していくことが必要。

（３）課題の抽出方法について
・地域課題をどう考えているか、各区へヒアリングをするのはどうか。
・基幹相談支援センター連絡会で地域課題を共有し意見交換してはどうか。
・市の自立支援協議会で諮る内容の精査も必要である。
・課題を類型別に総合的に見て、取組みを進める方法も必要ではないか。

（４）令和８年度地域課題
①計画相談支援
・計画相談の利用率について、パーセンテージだけでなく、計画相談の何を充足させていくのかを明確にしていく必要がある。

・自立してセルフプランに移行していくことと、望まないセルフプランのへのアプローチできる体制と、両方必要である。
・モニタリングの必要度を見極める視点も必要である。
・課題を類型別に総合的に見て、取組みを進める方法も必要ではないか。
②事業所の質の向上
・就労系サービスの適正化は喫緊の課題である。
・給決定のあり方とサービスの適正のあり方について議論が必要である。
・良い事例を集約してオープンにしていくのはどうか。